大腿骨頚部骨折/人工骨頭置換術（患者用クリニカルパス）

入院年月日:20　　年　　月　　日　退院予定日:20　　年　　月　　日

ID＿＿＿＿＿＿＿＿

患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿様　　主治医＿＿＿＿＿＿＿＿

＊状況により予定が変更になる場合があります。ご了承ください。

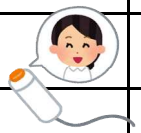
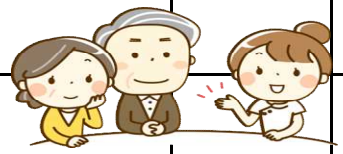
	入院日～	手術前日	手術当日（　／　）		術後1日目	術後2日目
	～	／	手術前	手術後	／	／
検査・処置	検温:入院後3日間1日3回以降1回以上適宜 手術に向けて必要な検査や受診を行います （採血・X線撮影　歯科受診　等） 弾性ストッキングの採寸をします 必要時:フットポンプを装着します		検温:朝・搬入前 浣腸をします 手術衣に着替え点滴をします 弾性ストッキングをはきます ストレッチャーで手術室へ行きます	検温　術後時間毎 必要時、採血や、酸素吸入をします 患部に血がたまらないように 管(ドレーン)を入れる事があります 弾性ストッキング・フットポンプ装着中	検温1日4回 朝、採血があります	検温1日4回 傷の消毒をします ・ドレーンを抜きます
薬	内服薬をお預かりします 薬剤師が、内服薬の内容を確認します		・医師の指示に従い 必要な薬のみ内服します ・点滴を行います →	・必要時、輸血をします	・内服薬は看護師が管理します ・術後2日間抗菌薬の点滴があります(朝・夕) 術後の状態に応じ点滴を抜きます	
安　静	ベッド上安静です		ベット上安静です	ベット上安静です(股枕を使用します)	頭部を90度まで、上げる事が出来ます	
排　泄	ベッド上での排泄となりますので、尿器や便器を使用しますが、 適宜オムツや尿留置カテーテルを使用します			・術後の汚染を防ぐため、尿留置カテーテルが入ります		
リハビリ	術前よりリハビリを行います				状態に応じてリハビリを 進めていきます	→
食事・飲水	体調に合わせて、食事を検討します		・食事の説明は看護師が行います	・医師の指示に従い 水分や、軽食をとることができます	・手術前と同じ食事となります	
清　潔	体を拭きます → 可能ならシャワー　又はリフトバスに入ります		歯磨きをします		体を拭きます → 陰部を洗浄します	→
患者・家族への説明	・入院生活の流れを説明します ・入院に必要な情報を伺います ・医師より手術の説明を行います ・同意書類はサインを記載後、 看護師にお渡し下さい ・麻酔科医師訪問・診察(必要時) ・手術室看護師の訪問(手術前日)があります		・携帯電話や財布など貴重品は ご家族が保管して下さい ・ご家族の来院時間は、 前日にお知らせいたします ・手術の間、ご家族は 必ず手術室の前でお待ち下さい ・手術が終了したら、医師より ご家族へ説明があります	・手術後は指示があるまで、 飲んだり食べたりしないで下さい ・痛みが強いときには、 遠慮なくお知らせください 鎮痛剤が使用できます ＊一人で横を向くことが出来ません **必ず看護師を呼んでください**	・足の血流を促すために、足首や足のゆびの 運動をしっかりと行ってください ・褥創を予防する為に、看護師と一緒に 体位変換を行います （股枕を使用します）	
医療相談			ご家族と転院についてのお話をさせて頂きます			
医　事	医療費の支払いや手続き等、医事に関するお尋ねがある場合は看護師にお知らせ下さい					







大腿骨近位部骨折/人工骨頭置換術（患者用クリニカルパス）

	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7～9日目	術後10日目	～ 約14日
	／	／			／	／	（転院決定まで）
検査・処置	検温1日3回　一日置きに創の消毒をします 弾性ストッキングは中止の指示があるまで継続です 状態に応じて、尿留置カテーテルを抜きます フットポンプは、必要時、装着を継続します	検温1日1回 適宜 創の消毒		創の消毒 （術後6日目　8日目） 術後の病状に合わせ、 適宜X腺撮影をします		約10日で抜糸をします	
薬							状態が落ち着き可能になれば 自分で薬を管理する事もあります
安　静	状態に応じて、看護師と一緒に移動します →						→
排　泄	看護師が車椅子介助をし洋式トイレを使用します 状態に応じて尿留置カテーテルを抜きます（尿が出にくい、痛みがあるなどの時は、お知らせ下さい）						
リハビリ	状態に応じて　リハビリを進めていきます →						→
食事・飲水	手術前と同じ食事						
清　潔	抜糸までは体拭きをします トイレではウォシュレットをご使用下さい					抜糸後は、 シャワー浴をします	
患者・家族への説明	脱臼予防肢位の注意点を説明します ・痛みが強いときには遠慮なくお知らせください 鎮痛剤が使用できます リハビリの時間前には、トイレや、歯磨きなどを終わらせて準備をしておきましょう リハビリ前後の手洗い、うがいをしましょう		<u>・自動側臥位、車椅子使用、・歩行器歩行、 ・自己シャワー　の指導を予定しています</u> （転院先で説明・指導を行うことがあります） 自宅や施設への退院をご希望の方は、回復期リハビリテーション病棟または地域包括ケア病棟へ転棟して戴くことがあります 術後のご様子で転棟の時期が決まりますので、事前にお知らせします				転院日が決まりましたら 転院についての説明をします 持参していただくお手紙をお渡しします 自宅・施設への退院の場合は 当院退院について説明します
医療相談							転院先病院の調整を行い 抜糸後可能となれば転院となります
医　事							退院前日試算を行います 退院証明書をお渡しします

製鉄記念八幡病院